

囲碁にまつわる言葉 【目論見】

この言葉も囲碁にまつわる表現です。広辞苑(第二版)によれば「目論むとは目算すること」とあります。「目論む」を名詞化したのが【目論見】です。この言葉は、さまざまな場面で使われます。目論見とは、意図、計画すること、またはその内容や計画そのものを表します。目論見と同様、何かを計画することを指す言葉は「目算」以外にも「企み」や「企図」、「青写真」や「筋書」などがあります。

「目論見」については、よからぬことを計画したり悪巧みをしたりするニュアンスを持つ印象があります。ネガティブな言葉であるというイメージを抱くこともしばしばあるのは事実です。しかし、「目論見」は何かを実行に移す前に、ポジティブな計画を作ることという意で使うこともできます。



ここで気をつけたいのが、「目論見」と「企み」の意味や使い方の違いです。前述の通り、「目論見」は何かを実現するための良い計画を指す時、反対に悪巧みのようなネガティブな意味を持たせたい時の両方のパターンで使うことができます。「企み」は、主に自分の思い通りになるようによからぬ計画を立てることを表し、ネガティブなニュアンスを含めて使われることが多いようです。「画策する」のがこれに当てはまります。目論見と企みはよく似た言葉ですが、目論見の言い換えとして企みという言葉を選ぶ際には注意が必要といえます。

目論見を英語で表現すると「plan」「scheme」「strategy」、悪巧みは「crafty」などの単語が当てはまります。